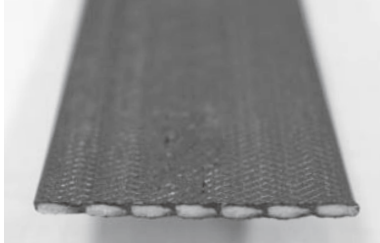
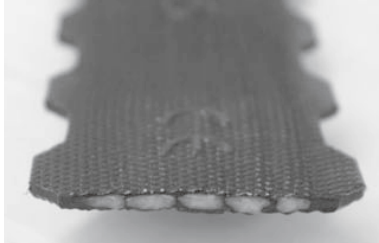


# テールアルメGS工法

ジオシンセティックス補強材(ストラップ)は、引張強度・摩擦抵抗で従来の鋼製補強材(ストリップ)と同等であり、設計上の耐久性は100年と優れた安全性を持っています。また、重量は従来の鋼材の1/10と大幅な軽量化を実現し、施工性の向上が図られました。



ジオストラップ



HAジオストラップ



壁面材+ストラップ

## 特徴 Characteristic

### 01 経済性 | Economy

従来のテールアルメ(鋼製補強材:ストリップ)に比べ、「約10%の全体工事費削減」が可能になり、「**トータルコストの低減**」を実現しました。


### 02 施工性 | Construction characteristics

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| ① 部材点数削減による工数の削減      | ⇒ 部材点数 65%減         |
| ② 部材の軽量化による安全性の向上     | ⇒ 部材重量 90%減         |
| ③ 作業工程に合わせたストラップ取付    | ⇒ 先行取付可能            |
| ④ 荷姿のコンパクト化による資材置場の削減 | ⇒ 部材置場スペース 65%減を実現。 |

### 03 軽量性 | Lightness

鋼製補強材(ストリップ)と比べ、「**補強材の重量が約1/10**」になりました。

■補強材重量比較 (A=500㎡)

鋼製補強材(ストリップ)		ジオシンセティックス(ストラップ)	
ストリップ	5,000m×2.7kg/m=13,500kg	ストラップ	10,000m×0.17kg/m=1,700kg
ボルトナット	1,600本×0.13kg/本=208kg	ボルトナット	不要
合計	<b>13,708kg</b>	合計	<b>1,700kg</b>
トラック	 	トラック	 輸送時 環境負荷低減(CO <sub>2</sub> 削減)

### 04 安全性 | Safety

ポリエチレンテレフタレート(PET)を使用し、沿岸部、寒冷地(融雪剤散布)等塩害の恐れのある地域及びアルカリ土壌など、高腐食下においても「**耐久性が向上**」しました。

▶ ジオストラップ(適用範囲:pH ≤ 12)